

MinebeaMitsumi

Passion to Create Value through *Difference*



株主のみなさまへ

第74期 中間報告書

(2019年4月1日～2019年9月30日)

ミネベアミツミ株式会社

証券コード 6479

事業の概況

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第74期第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

■当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）のわが国の経済は、米中貿易摩擦の激化による輸出の低迷、主要通貨に対する円高の進行などにより、景気は引き続き後退しました。米国経済は、国内の雇用情勢並びに個人消費は堅調に推移しましたが、中国による対米報復関税の発動を受け外需が減少するなど、景況感は悪化しました。欧州経済は、個人消費は好調に推移したものの、英国の合意なきEU離脱に対する懸念などから、製造業を中心に景気は低迷しました。アジア地域においては、中国経済は、政府主導によるインフラ投資が加速する一方、米国の関税引き上げによる対米輸出の落ち込みなどから、景気は減速しました。

当社グループは、かかる経営環境下で、収益力のさ

らなる向上を実現するために、徹底したコスト削減、高付加価値製品と新技術の開発及び拡販活動に注力してまいりました。

この結果、売上高は483,898百万円と前年同期比34,530百万円（7.7%）の増収となりました。営業利益は23,035百万円と前年同期比10,880百万円（△32.1%）の減益、税引前四半期利益は23,061百万円と前年同期比11,215百万円（△32.7%）の減益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は16,213百万円と前年同期比10,643百万円（△39.6%）の減益となりました。

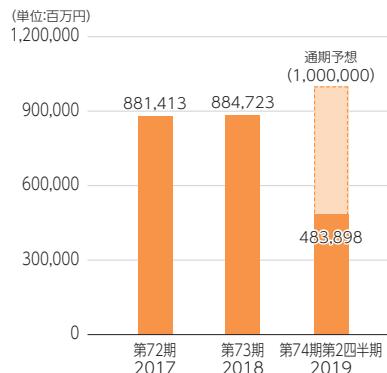
なお、本年4月10日付で株式公開買付けにより株式会社ユーシンを子会社化し、経営統合を実施したことに伴い、同統合日より同社を連結対象に組み入れております。上記には、統合日以降の同社の損益が含まれております。

■通期の見通し

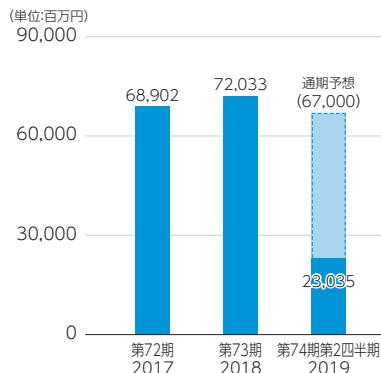
第3四半期連結会計期間以降も、各国の貿易政策、為替の変動、地政学的リスク等、世界経済の動向は不

■財務ハイライト（連結）

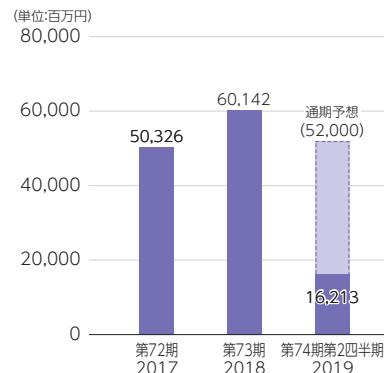
売上高の推移



営業利益の推移



親会社の所有者に帰属する当期利益の推移



※当社グループは、第73期第1四半期連結会計期間より国際会計基準（IFRS）を適用しており、第72期の財務数値についても、IFRSに準拠して表示しております。

透明な状況にあります。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の業績及び直近の状況を踏まえ、現時点で予想可能な範囲で通期連結業績予想を見直し、以下のとおり変更いたします。

通期連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A） （2019年8月2日発表）	1,030,000	77,000	62,000
今回修正予想（B）	1,000,000	67,000	52,000
増減額（B-A）	△30,000	△10,000	△10,000

中間配当金につきましては、当期の業績を勘案した上で1株につき14円とさせていただきます。また、期末配当金に関しましては、当期の業績を勘案した上で連結配当性向20%程度を目処に決定いたします。

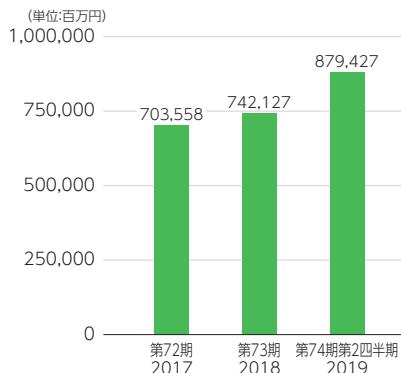
株主のみなさまにおかれましては、引き続き格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



貝沼由久

代表取締役
2019年12月

資産合計の推移



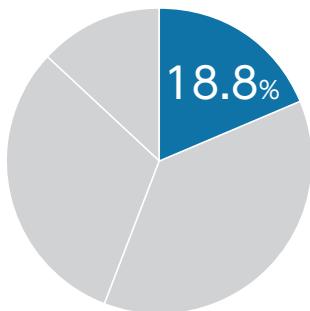
資本合計の推移



セグメント別の概況

機械加工品事業

売上高 91,187百万円  4.5%減



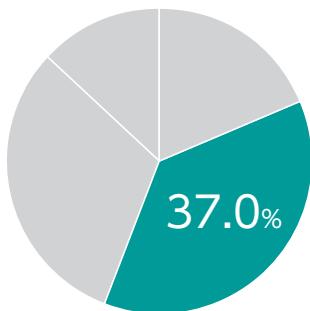
売上高比率 18.8%

機械加工品事業は、当社グループの主力であるボールベアリングのほかに、主として航空機に使用されるロッドエンドベアリング、ハードディスク駆動装置(HDD)用ピボットアッセンブリー等のメカニカルパーツ及び航空機用のねじが主な製品であります。主力製品であるボールベアリングは、自動車向けにおいて需要が堅調に推移しましたが、ファンモーター向けの需要減等により、販売数量、売上高ともに減少しました。ロッドエンドベアリングは、中小型機市場での受注が好調に推移したことにより、売上高は増加しました。ピボットアッセンブリーは、HDD市場の縮小を受け、販売数量、売上高ともに減少しました。また、前年同期比では主要通貨に対して円高が進行したことから為替の影響等がありました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は91,187百万円と前年同期比4,248百万円(△4.5%)の減収となり、営業利益は20,907百万円と前年同期比3,298百万円(△13.6%)の減益となりました。

電子機器事業

売上高 178,919百万円  3.2%減



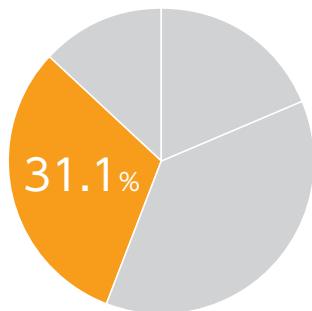
売上高比率 37.0%

電子機器事業は、電子デバイス(液晶用バックライト等のエレクトロデバイス、センシングデバイス(計測機器)等)、HDD用スピンドルモーター、ステッピングモーター、DCモーター、エアムーバー及び特殊機器が主な製品であります。ステッピングモーターをはじめとするモーターでは、車載向け市場の低迷に伴う需要減等により、売上高は減少しました。一方、液晶用バックライトは、薄型技術に優位性を持つ当社への需要が堅調に推移し、売上高は増加しました。また、前年同期比では主要通貨に対して円高が進行したことから為替の影響等がありました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は178,919百万円と前年同期比5,939百万円(△3.2%)の減収となり、営業利益は6,076百万円と前年同期比18百万円(0.3%)の増益となりました。

ミツミ事業

売上高 150,578百万円  10.8%減



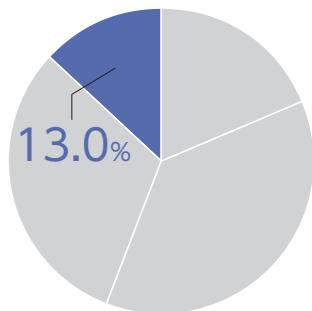
売上高比率 31.1%

ミツミ事業は、半導体デバイス、光デバイス、機構部品、高周波部品及び電源部品が主な製品であります。カメラ用アクチュエータ、スイッチ、保護IC等は堅調に推移しましたが、ゲーム機器等の機構部品の減少により、売上は減少しました。また、前年同期比では主要通貨に対して円高が進行したことから為替の影響等がありました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は150,578百万円と前年同期比18,188百万円（△10.8%）の減収となり、営業利益は7,149百万円と前年同期比3,191百万円（△30.8%）の減益となりました。

ユーシン事業

売上高 62,792百万円



売上高比率 13.0%

ユーシン事業は、キーセット、ドアラッチ、ドアハンドル等の自動車部品のほかに、産業機械用部品、住宅機器用部品（ビル・住宅用錠前その他）が主な製品であります。自動車部品は、中国を中心に、その他欧州等における自動車市場減速の影響により稼働が大幅に低下し、売上は低迷しました。産業機械用部品は、農機、建機向けの需要が堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は62,792百万円となり、営業利益は1,542百万円となりました。

(注1) その他の事業は、自社製機械が主な製品であります。当第2四半期連結累計期間の売上高は422百万円と前年同期比113百万円（36.6%）の増収、営業損失は694百万円と前年同期比535百万円の悪化となりました。

(注2) 上記以外に、各セグメントに帰属しない全社費用等11,945百万円を調整額として表示しております。前年同期の調整額は6,529百万円でした。

カンボジアサッカー代表チーム・オフィシャルパートナーとしてスポンサー契約を締結

2019年6月、当社のカンボジア現地法人Minebea (Cambodia) Co., Ltd.は、カンボジアサッカー代表チーム (Cambodia National Football Team) のオフィシャルパートナーとなり、カンボジアサッカー連盟 (Football Federation of Cambodia) とスポンサーシップ契約を締結いたしました。このスポンサー契約により、オフィシャルスポンサーゲームの開催などカンボジアサッカー代表チームのサポートを通じて、カンボジアのさらなる成長の可能性を広げられるよう、応援してまいります。

カンボジアサッカー代表ユニフォーム



欧州子会社によるドイツ精密成形部品メーカーの買収



Mast Kunststoffe GmbH & Co.KG
の工場

当社の欧州子会社であるMinebeaMitsumi Technology Center Europe GmbH^(※)は、2019年9月、Mast Kunststoffe GmbH & Co.KG (以下、マストKG) 及びMast Verwaltungsgesellschaft mbH (以下、マストmbH) の議決権を100%取得し、子会社といたしました。

マストKGは、精密成形部品 (ギアやギアボックスなど) の設計、分析及び金型の設計、製作、部品製造販売を行っているドイツの会社です。マストmbHは管理サービス受託を行っているドイツの会社です。

当社グループは、金型の製作から部品の加工組み立てまでの垂直統合生産を強みとしており、特にアジアにおいては大規模大量生産工場のオペレーションを実現しております。一方、本年4月に新たに株式会社ユーシンと経営統合を行い、欧州地域においてもさらに事業を拡大しております。

本買収により、欧州地域における精密成型部品の金型設計から加工・量産までの垂直統合生産システムを強化し、スピーディーな現地対応・生産性改善を実現します。マストKGと当社の成形・金型技術を相合することで、欧州だけではなく大量生産拠点であるアジアなどグループ全体でシナジーを発揮し、さらなる品質向上、生産性改善を進めてまいります。

(※) 欧州技術センターの設立に伴い、旧社名 (Precision Motors Deutsche Minebea GmbH) より変更

第46回東京モーターショー2019出展

当社のグループ会社である株式会社ユーシン^(※)は、2019年10月、「第46回東京モーターショー2019」に出展いたしました。

本展示会では、スマートフォンを持って近づくだけで車両ドアや住宅の玄関ドアの鍵を施解錠することができる新しいスマートロックシステム及び車両ドアの自動開閉システムを、デモンストレーションによりご紹介いたしました。

タッチセンサー式のドアハンドル (E-ハンドル) のほか、自動的にドアの噛合いを外す電動ラッチ (E-ラッチ)、自動的にドアをオープンするパワードアアクチュエータ、住宅用モバイルアクセスなどの電動化によるドア開閉システム (E-アクセス) などを展示し、ご来場の皆様には、CASE (Connected, Autonomous, Shared and Service, Electric) 時代にふさわしい最新の技術を体感していただくことができました。

(※) 2019年8月7日、株式会社ユーシンは当社の完全子会社となりました。



第46回東京モーターショー2019

財務諸表

●要約四半期連結財政状態計算書 (単位：百万円)

科 目	当第2四半期末(第74期) (2019年9月30日現在)	前期末(第73期) (2019年3月31日現在)	科 目	当第2四半期末(第74期) (2019年9月30日現在)	前期末(第73期) (2019年3月31日現在)
資産			負債		
流動資産			流動負債		
現金及び現金同等物	102,656	122,432	営業債務及びその他の債務	157,814	109,344
営業債権及びその他の債権	201,042	151,349	社債及び借入金	139,255	86,642
棚卸資産	181,444	141,385	その他の金融負債	6,189	1,983
その他の金融資産	19,389	21,045	未払法人所得税等	5,876	5,448
その他の流動資産	15,811	9,343	引当金	4,367	200
流動資産合計	520,342	445,554	その他の流動負債	42,386	31,848
非流動資産			流動負債合計	355,887	235,465
有形固定資産	288,164	244,388	非流動負債		
のれん	15,297	8,284	社債及び借入金	78,512	75,400
無形資産	9,473	9,375	その他の金融負債	14,702	5,138
その他の金融資産	21,654	14,635	退職給付に係る負債	20,897	14,577
繰延税金資産	19,747	16,650	引当金	982	1,196
その他の非流動資産	4,750	3,241	繰延税金負債	1,612	1,754
非流動資産合計	359,085	296,573	その他の非流動負債	1,745	1,337
資産合計	879,427	742,127	非流動負債合計	118,450	99,402
			負債合計	474,337	334,867
			資本		
			資本金	68,259	68,259
			資本剰余金	135,945	137,464
			自己株式	△19,449	△19,448
			利益剰余金	212,602	202,172
			その他の資本の構成要素	91	11,256
			親会社の所有者に帰属する持分合計	397,448	399,703
			非支配持分	7,642	7,557
			資本合計	405,090	407,260
			負債及び資本合計	879,427	742,127

(注) 金額は百万円未満を四捨五入表示しております。

●要約四半期連結損益計算書 (単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間(第74期)	前第2四半期累計期間(第73期)
	(2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	(2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
売上高	483,898	449,368
売上原価	408,221	368,342
売上総利益	75,677	81,026
販売費及び一般管理費	54,132	47,973
その他の収益	2,238	1,377
その他の費用	748	515
営業利益	23,035	33,915
金融収益	961	875
金融費用	935	514
税引前四半期利益	23,061	34,276
法人所得税費用	6,131	7,218
四半期利益	16,930	27,058
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	16,213	26,856
非支配持分	717	202
四半期利益	16,930	27,058

(注) 金額は百万円未満を四捨五入表示しております。

●要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間(第74期)	前第2四半期累計期間(第73期)
	(2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	(2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	13,892	23,075
投資活動による キャッシュ・フロー	△27,017	△31,909
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,481	5,318
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△5,170	1,464
現金及び現金同等物の 増減額(減少：△)	△19,776	△2,052
現金及び現金同等物の 期首残高	122,432	88,777
現金及び現金同等物の 四半期末残高	102,656	86,725

(注) 金額は百万円未満を四捨五入表示しております。

商 号 ミネベアミツミ株式会社

創立年月日 1951年7月16日

資 本 金 68,259百万円

従 業 員 数 4,255名

本 社 所 在 地 〒389-0293
長野県北佐久郡御代田町大字御代田4106番地73
TEL 0267-32-2200 (代表)

東京本部所在地 〒108-8330
東京都港区三田三丁目9番6号
TEL 03-6758-6711 (代表)

事 業 所 東京本部・軽井沢工場・松井田工場・浜松工場・
藤沢工場・米子工場

▶▶ 「ミネベアミツミグループ統合報告書2019」のご紹介

「ミネベアミツミグループ統合報告書2019」を
発行いたしました。

当報告書は、株主・投資家をはじめとしたステークホルダーのみなさまに、当社の企業価値拡大に向けた取り組みをお伝えすることで、新たな対話の機会を創出することを目的としています。インターネット上の当社ウェブサイトに掲載しておりますので、ぜひご一読いただき、当社へのご理解を深めていただければ幸いです。

(https://www.minebeamitsumi.com/corp/investors/disclosure/integrated_report/)



株式の状況

発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式の総数	427,080,606株
株主数	35,393名

大株主の状況 (上位10名)

	持株数 (株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	37,923,300	9.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	22,441,400	5.41
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	18,561,137	4.47
公益財団法人高橋産業経済研究財団	15,447,330	3.72
三井住友信託銀行株式会社	15,413,900	3.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	13,938,500	3.36
株式会社三井住友銀行	10,223,597	2.46
株式会社三菱UFJ銀行	10,181,739	2.45
株式会社啓愛社	10,100,000	2.43
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036	9,528,085	2.30

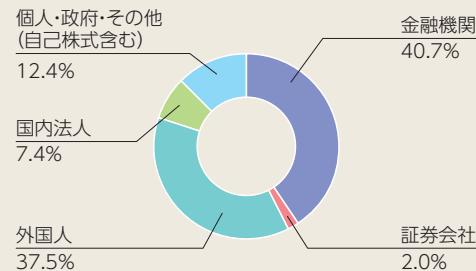
(注) 1.当社は、自己株式11,949,629株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。

2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。

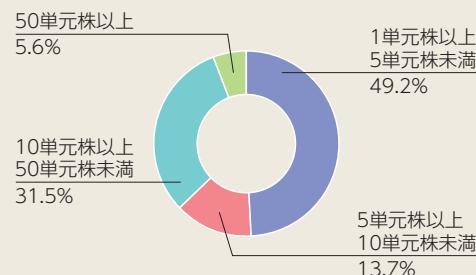
株価の推移 (東京証券取引所)



所有者別株式分布状況



単元株主数分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
配当金支払 株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関 同連絡先 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (平日 午前9時~午後5時)
(ウェブサイト)	https://www.smtb.jp/personal/agency/
公告方法	電子公告により行います。 (https://www.minebeamitsumi.com/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京・名古屋の各証券取引所第一部

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社等の口座に 記録された株式	口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。
特別口座に 記録された株式	株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。 ※この特別口座で管理しております株式は、そのままでは売買することができません。株主様が証券会社にご自身で開設された口座に、特別口座から株式をお振替いただく必要があります。 各種お手続きにつきましては、当社の特別口座管理機関である三井住友信託銀行 証券代行部にお問い合わせください。 ☎ 0120-782-031 (平日 午前9時~午後5時)



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



この印刷物は、石油系溶剤を使用しない植物油100%のインキを使用し
環境にやさしい水なし印刷で印刷しています。



ミネバアミツミ株式会社は、国産木材を積
極的に使って日本の森林を育てていくこ
とが大切だと考え、林野庁が推進する「木
づかい運動」を応援しています。
この冊子の制作により、長野県の木材が
製紙原料として活用され、国内の森林によ
るCO2吸収量の拡大に貢献しています。



ミネバアミツミ株式会社

東京本部

〒108-8330

東京都港区三田三丁目9番6号

TEL 03-6758-6711 (代表) FAX 03-6758-6700

URL <https://www.minebeamitsumi.com/>

©ミネバアミツミ株式会社
2019年12月